

広野保育園けんこうだより 9月号

令和7年8月27日
幼保連携型認定こども園
広野保育園 No.11

今年は暑くなり始めた時期が早く、さらに厳しい残暑も続いています。この時期は夏の疲れが出やすくなりますので、ゆっくりお風呂に入ったり、たっぷり睡眠をとったりして体調を崩さないようにしましょう。

9月9日 救急の日

山形県では、急な病気の際に、協力医師の支援体制のもとに専門的な知識と経験を有する看護師が、医療機関への受診や家庭での対処方法についてアドバイスを行うことにより、安心して生活していただくことを目的として、救急電話相談を実施しています。



※この電話相談は診療行為、医療行為ではなく、電話でのアドバイスにより、相談者の判断の参考としていただくものですので、あらかじめご理解のうえご利用願います。
※相談はおおむね10分以内とさせていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。
※相談は無料ですが、右記電話番号までの県内通話料がかかります。 県HPより引用

山形県 救急電話相談

●相談日：毎日 ●相談時間：18時～翌朝8時

●県内のプッシュ回線・携帯電話からは **#8000**

●ダイヤル回線・IP電話からは **023-633-0299**

小児救急電話相談
お子さんを持つ保護者の皆様の安心のために

●15歳未満 ●子どもの発熱、嘔吐、下痢など子どもの急な病気の相談

●県内のプッシュ回線・携帯電話からは **#7119**

●ダイヤル回線・IP電話からは **023-633-0799**

大人の救急電話相談
医療機関を受診するか迷ったときは

●15歳以上 ●発熱、頭痛、腹痛、めまい、吐き気など急な病気の相談

●問い合わせ先
山形県健康福祉部 医療政策課
TEL: 023 (630) 3366 FAX: 023 (630) 2301
Email: yiyoseisaku@pref.yamagata.jp

令和6年4月1日18時から大人の救急電話相談のダイヤルが**#7119**に変わります。

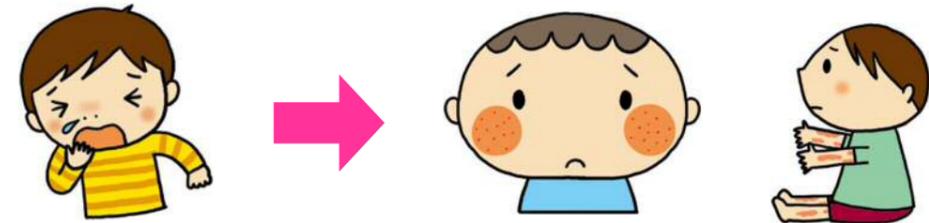
救急箱の中 チェックしていますか？

救急箱の中身に決まりはありません。普段使うものを清潔な入れ物に入れておけばOKです。ただし、滅菌ガーゼや絆創膏、薬は使用期限があり、テープ類は古くなると粘着力が弱くなります。1年に1回はチェックするようにしましょう。

- 絆創膏**
けがをした部位に合わせて選べるよう、形やサイズをいくつか用意しておくとう便利。
 - はさみ**
救急箱専用にしておくとう衛生的で安心です。
 - 体温計**
 - ガーゼと医療用テープ**
 - 毛抜きやピンセット**
皮膚に刺さったトゲを抜いたりするのに使います。
 - 常備薬**
虫よけ、かゆみ止め、化膿止めなど
*傷口に薬をつけるための綿棒もあるとよいでしょう。
- *図ではトゲ抜き専用のピンセットを使っています。

流行しています！ りんご病

りんご病（伝染性紅斑）は、ヒトパルボウイルス B19 による感染症です。小児を中心にみられる流行性の発しん性の病気です。両頬がりんごのように赤くなることから、「りんご病」と呼ばれます。



約 10～20 日の潜伏期間の後、咳や鼻水、微熱が出るなど、風邪によく似た症状が現れます。

7～10 日後に両頬に蝶の羽のような境界鮮明な発疹（紅斑）が現れ、りんごのように赤く腫れてきます。続いて腕や足あるいは体全体に、レースの編み模様のような発疹が現れます。発疹は 1 週間程度で消失します。

感染経路

感染した人の咳のしぶき（飛沫）を吸い込むことによる感染（飛沫感染）や、感染者と接触したりすることによる感染（接触感染）です。



治療方法

基本的には軽い症状の病気のため、経症状に応じた治療（対症療法）となります。



大人がりんご病にかかると、関節痛やひどいむくみ、微熱が数週間続く傾向があります。頬の赤みがあらわれることは少ないですが、全身症状が強いため大人の方が症状が重いといわれます。妊娠中にりんご病に感染するとウイルスが血流によって胎盤を通過し、胎児に影響を及ぼしてしまうことがあります。胎児に深刻な症状を引き起こす可能性が高いのは、妊娠 20 週までです。妊活中や妊娠中の女性はりんご病に感染しないように注意しましょう。

9月 身体測定

- 17日(水)
0歳児（ひよこ組）
1歳児（桃組）2歳児（桜組）
- 19日(金)
3歳児（梅組）4歳児（竹組）
5歳児（松組）



これで安心！ ちょっとしたけがのケア

元気な子どもは小さなすり傷や切り傷が得意なものです。化膿させずに治す方法を知っておきましょう。

ウェットタイプの絆創膏は使い方をチェック！



モイストタイプ（ハイドロコロイド素材/キズパワーパッドなど）の絆創膏は、2歳以下の子どもには使えません。使用上の注意を守って使しましょう。

- 1 手当てをする大人がまず手を洗う
手から汚れがうつるのを防ぎます。
- 2 傷口を流水で洗う
流水で傷口をやさしく洗い、泥や砂などを取り除きます。とげなどが刺さっている時は、毛抜きで抜き取ってから流水で洗いましょう。
- 3 傷口を保護する
絆創膏やガーゼなどで傷口を覆います。絆創膏は毎日交換して、傷の治り具合をチェックしましょう。

傷口の汚れやとげなどが取り除けなかったり、傷の治りが悪い時は医療機関を受診しましょう。